



Your dreams. Woven together.

2013年6月期 決算説明

2013年8月9日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部)



1. 2013年6月期(通期)連結決算の概要

2. 2014年6月期(通期)連結業績見通し



2013年6月期 決算のポイント

■ 売上高は19,968百万円(前年同期比+34.5%)

- 償還価格下落、直販切替に伴う一時的な在庫買取、産業機器分野の減少などがあるものの医療機器分野については全地域において需要増に伴い大きく増加

- 増収要因
- 国内PTCAガイドワイヤー直販化に伴う収益改善(前年は代理店切替に伴うイレギュラー要素含む。末端販売数は増加)
 - 欧州・中近東、米国、アジア(中国含む)全ての地域において好調に推移
 - 循環器系以外の製品(主に末梢血管系製品・脳血管系製品)についても順調に推移

- 減収要因
- 償還価格下落による売上高の減少(前年同期比△619百万円)
 - 腹部・脳血管系製品の国内直販化(2013年7月～)に向けた代理店在庫の買取(返品)(約△2億円)や売上供給調整(約△1億円)
 - タイ洪水影響に伴う産業機器分野の売上高の減少(前年同期比△208百万円)

■ 営業利益は営業関係費用が増加するも、売上好調なことに伴い大きく増加

- 売上総利益は13,510百万円(前年同期比 +36.1%)

- 売上高増加に比例して増加、なお前期はタイ洪水に伴うタイ固定費の特別損失振替処理あり

- 営業利益は4,351百万円(前年同期比 +113.5%)

- 研究開発費用(1,954百万円)の増加 (前年同期比 +106百万円、売上高比率 9.8%)
- 直接販売への移行に伴う営業関係費用の増加など

- 経常利益は4,802百万円(前年同期比 +148.6%)

- 為替差益(489百万円)の計上(前年同期は為替差損140百万円計上)

- 当期純利益は3,004百万円(前年同期比 +210.4%)

- 前年同期は特別利益1,731百万円、特別損失2,342百万円 (主にタイ洪水関係)

為替	(単位:円)			
2012/06	US\$	78.63	BAHT	2.54
	EURO	106.79	中国元	12.69
2013/06	US\$	88.18	BAHT	2.90
	EURO	112.00	中国元	14.17



決算ハイライト

	2012年6月期 実績		2013年6月期 実績						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	2013年2月 修正計画	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		2013年2月 修正計画比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	14,852	100.0	19,277	19,968	100.0	+5,116	+34.5	+691	+3.6
売上総利益	9,923	66.8	13,093	13,510	67.7	+3,587	+36.1	+417	+3.2
営業利益	2,038	13.7	4,181	4,351	21.8	+2,313	+113.5	+170	+4.1
経常利益	1,931	13.0	4,404	4,802	24.0	+2,870	+148.6	+397	+9.0
当期純利益	967	6.5	3,162	3,004	15.0	+2,036	+210.4	△157	△5.0
EPS	61.49円	-	208.67円	197.79円	-	+136.30円	+221.7	△10.88円	△5.2



セグメント別売上高

	2012年6月期 実績		2013年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	12,133	81.7	17,053	85.4	+4,919	+40.5
デバイス事業	2,718	18.3	2,915	14.6	+197	+7.3
合計	14,852	100.0	19,968	100.0	+5,116	+34.5

(参考)

医療機器分野	13,488	90.8	18,814	94.2	+5,325	+39.5
産業機器分野	1,363	9.2	1,154	5.8	△208	△15.3

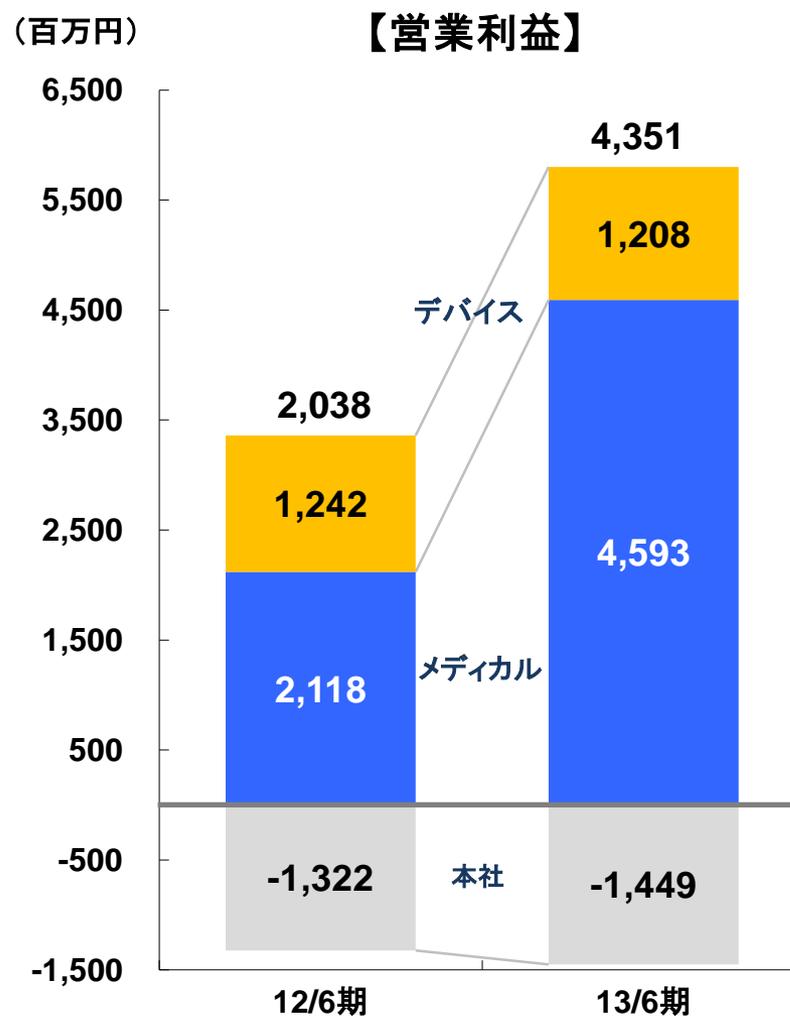
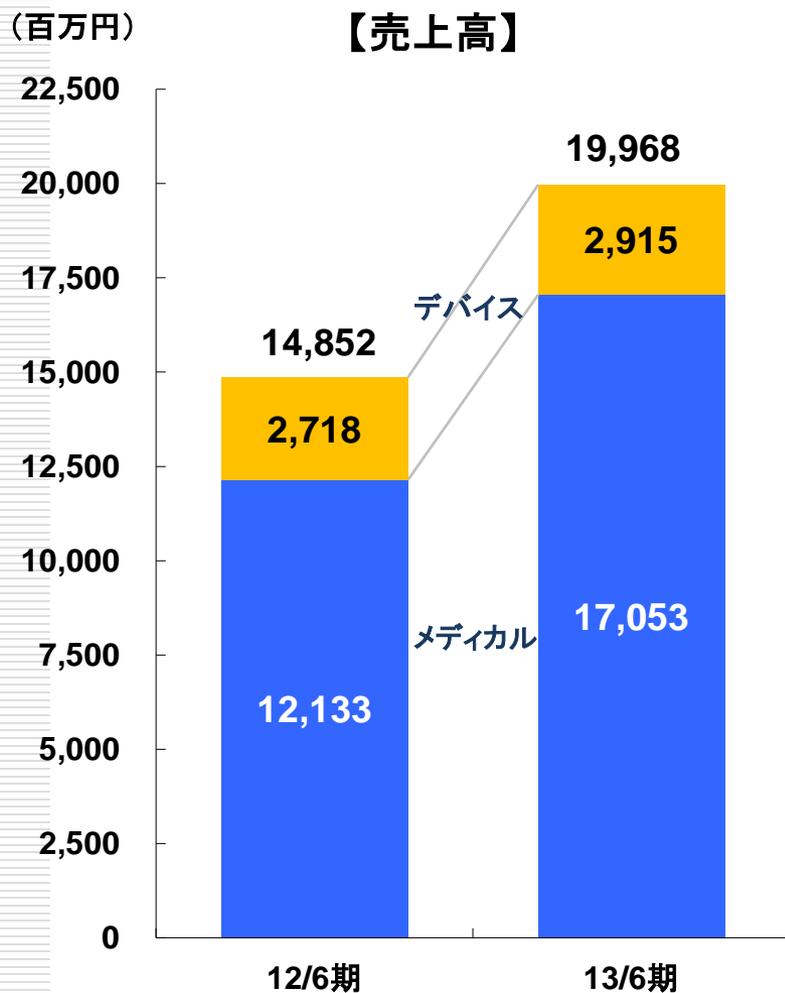


セグメント別営業利益

	2012年6月期 実績		2013年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	2,118	63.0	4,593	79.2	+2,474	+116.8
デバイス事業	1,242	37.0	1,208	20.8	△34	△2.8
計	3,361	100.0	5,801	100.0	+2,440	+72.6
消去・全社	△1,322	-	△1,449	-	△126	△9.6
合計	2,038	-	4,351	-	2,313	+113.5



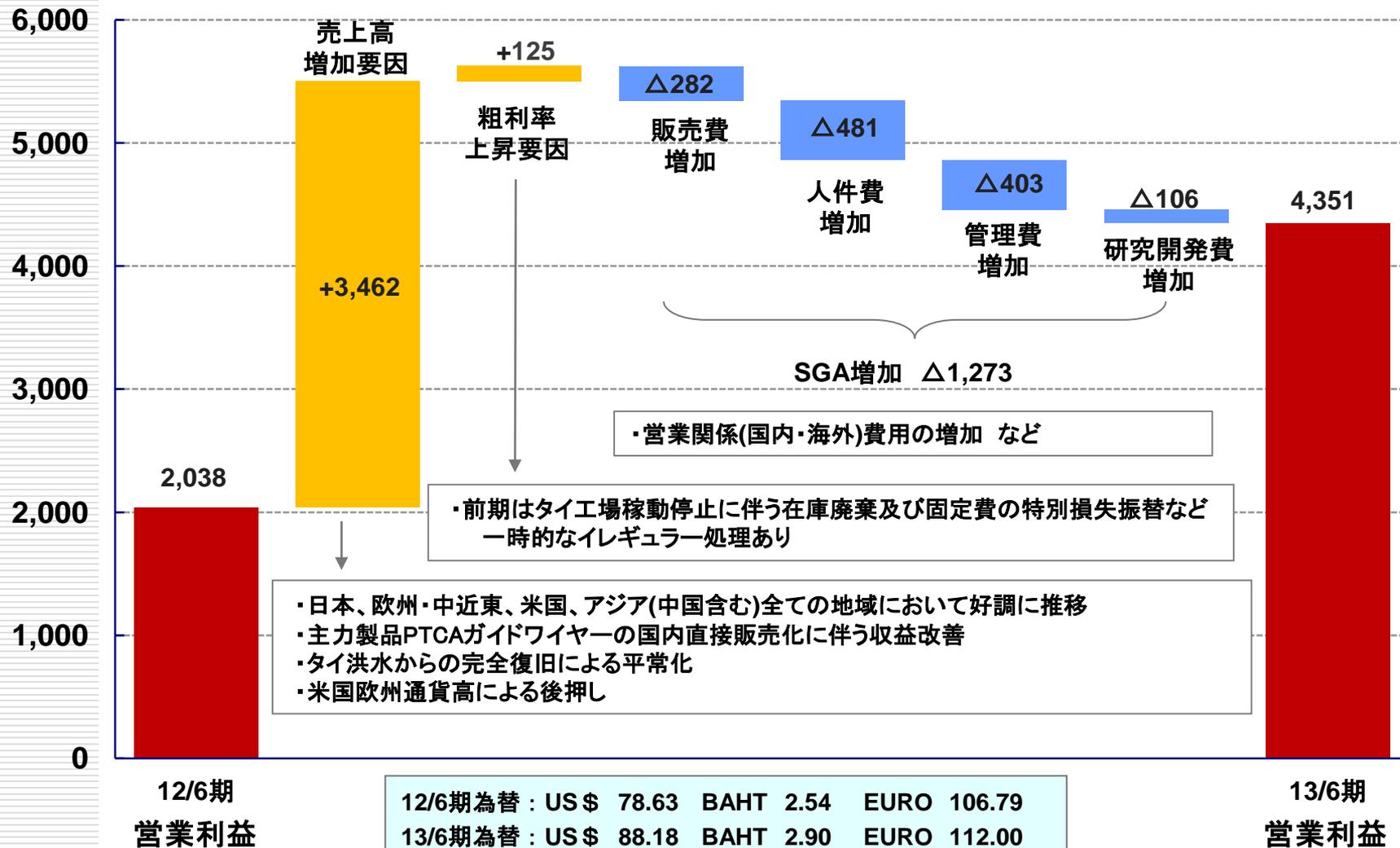
セグメント別の収益状況





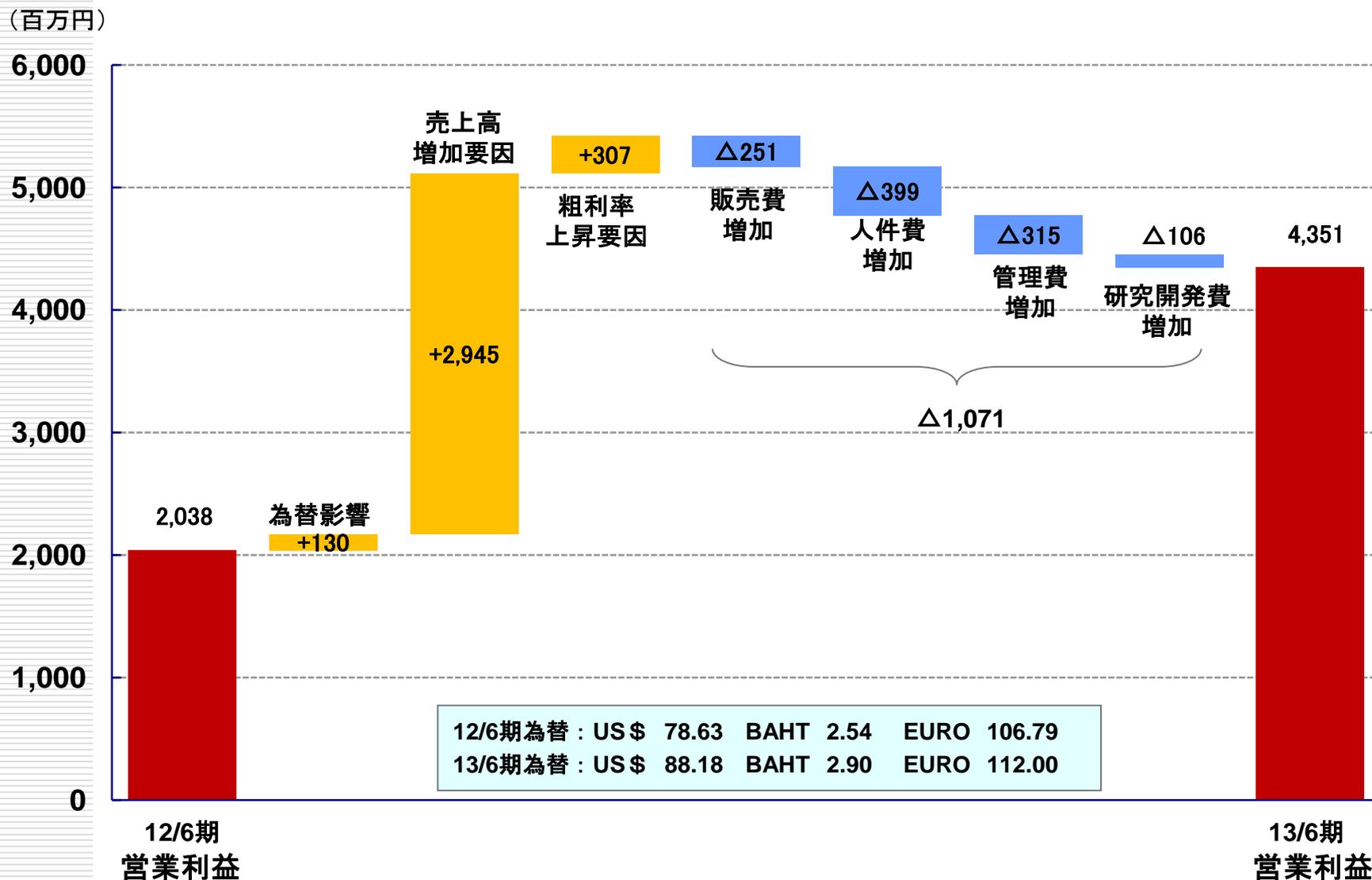
営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)

(百万円)





営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)



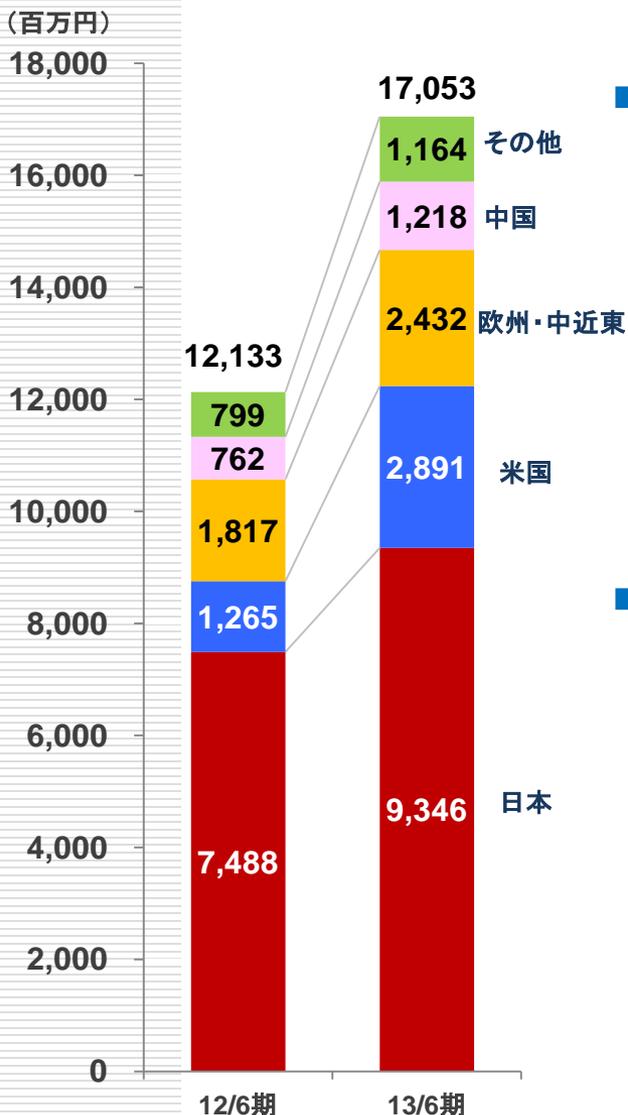


各事業の状況



メディカル事業の状況(地域別-1)

【売上高(前年同期比)】



- **日本**: 償還価格下落の影響(△619百万円)あるも、末端市場では好調に推移
 - PTCAガイドワイヤー: 直接販売への移行は順調であり、末端使用本数は安定継続成長(前期は直接販売以降前の調整期間であり、売上高は末端市場の販売数量と比例していないイレギュラーな期間である)新製品”GAIA”や”SIONシリーズ”を中心として末端市場では好調に推移
 - 末梢血管系製品: 末端市場でのガイドワイヤーの浸透強く好調に推移
 - 脳血管系製品: 脳用ガイディングカテーテルの販売開始に伴い増加傾向
 - 2013年7月より腹部血管系・脳血管系製品については直販化を開始
直販化に向け代理店名義の病院在庫等の買取(約△2億円)や代理店社内在庫圧縮のための供給調整(約△1億円)などの一時的減少が発生
- **海外**: 欧州・中近東、米国、中国含むアジア共に循環器系を中心として好調
米国欧州通貨高に伴う影響も後押し
 - 米国: PTCAガイドワイヤーはタイ洪水からの復旧により取引平常化し、契約通りに推移
貫通カテーテルCorsairは直販好調により取引増加
 - 欧州・中近東: 新製品効果及び現地代理店網の活用により市場シェア拡大
 - 中国: タイ洪水影響の挽回に加え、営業強化に伴い取引が増加
 - その他: PTCAガイドワイヤーを中心に好調

【営業利益】

- 営業関係費用の投下(先行投資含)があるも、売上高増加に比例し増加



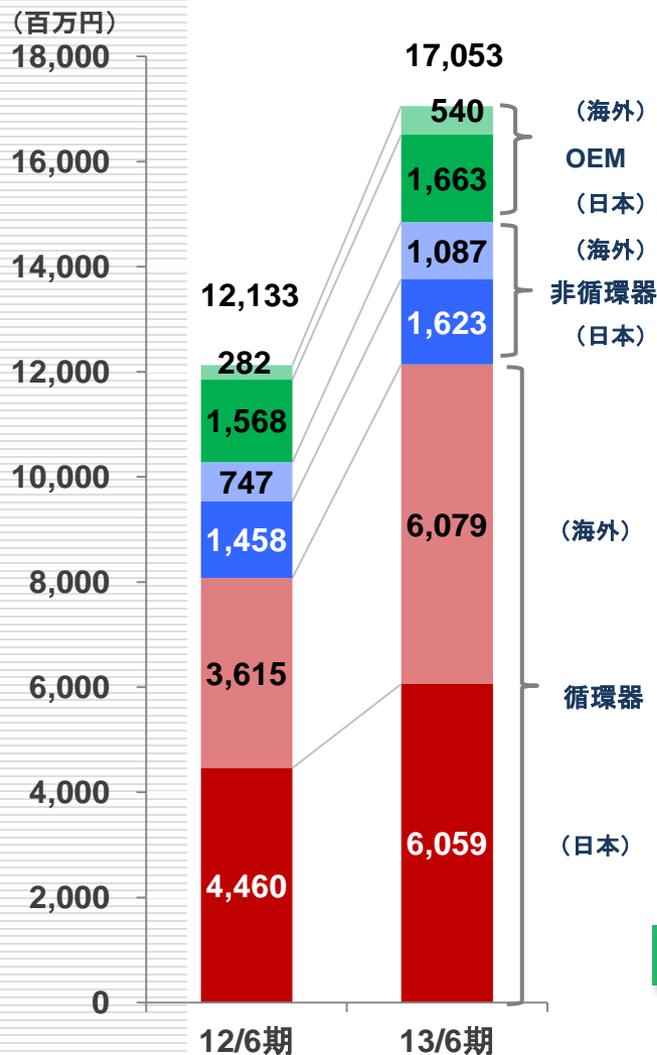
メディカル事業の状況(地域別-2)

(単位:百万円)

	2012/6期	2013/6期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)	78.63	88.18	+9.55	+12.1
売上高合計	12,133	17,053	+4,919	+40.5
日本	7,488	9,346	+1,858	+24.8
海外	4,645	7,707	+3,061	+65.9
米国	1,265	2,891	+1,625	+128.4
欧州・中近東	1,817	2,432	+614	+33.8
中国	762	1,218	+456	+59.8
その他	799	1,164	+365	+45.7
営業利益	2,118	4,593	+2,474	+116.8



メディカル事業の状況(患部領域別-1)



【売上高(前年同期比)】

循環器

- 日本: 償還価格下落の影響あるも PTCAガイドワイヤー直販化に伴う収益改善に伴い好調に推移
- 海外:
 - 欧州・中近東、米国、中国含むアジア共に PTCAガイドワイヤーが好調に推移
 - 米国: PTCAガイドワイヤーはタイ洪水からの復旧に伴う平常化により契約通りに推移
貫通カテーテルCorsairが直販好調により取引増加

非循環器

- 国内を中心として、主に末梢血管系・脳血管系が増加
- 国内の腹部血管系・脳血管系製品について直販化を決定切替に伴う一時的な減少(在庫買取・供給調整)あり

OEM

- 日本: 内視鏡関連製品や循環器系検査用ミニガイドワイヤーの増加
- 海外: 末梢血管用ガイドワイヤーや循環器系検査用ミニガイドワイヤーの増加



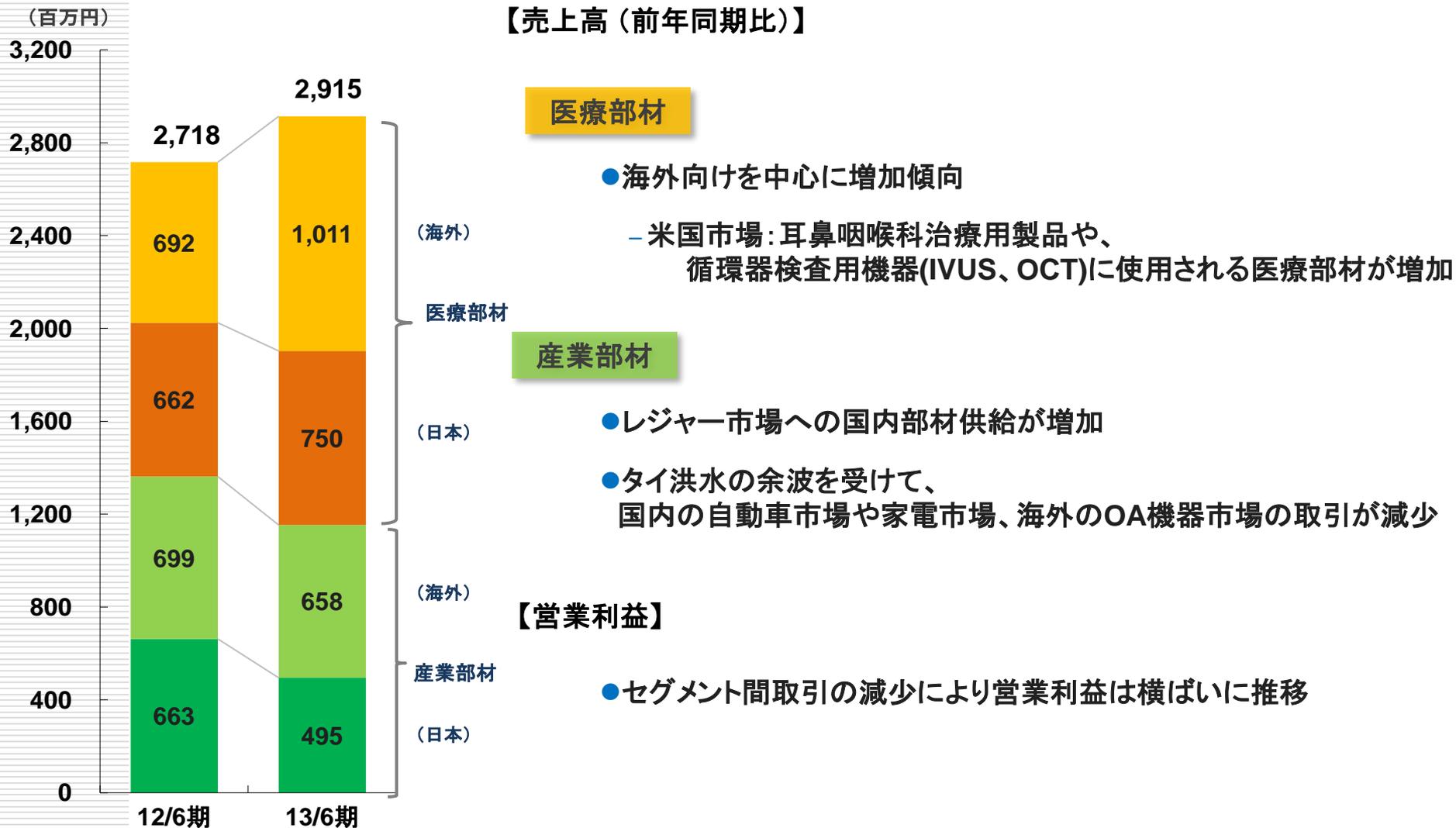
メディカル事業の状況(患部領域別-2)

(単位:百万円)

	2012/6期	2013/6期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)	78.63	88.18	+9.55	+12.1
売上高合計	12,133	17,053	+4,919	+40.5
日本	7,488	9,346	+1,858	+24.8
海外	4,645	7,707	+3,061	+65.9
循環器	8,076	12,138	+4,061	+50.3
日本	4,460	6,059	+1,598	+35.8
海外	3,615	6,079	+2,463	+68.1
非循環器	2,205	2,710	+505	+22.9
日本	1,458	1,623	+164	+11.3
海外	747	1,087	+340	+45.6
OEM	1,851	2,204	+352	+19.1
日本	1,568	1,663	+95	+6.1
海外	282	540	+257	+91.1



デバイス事業の状況-1





デバイス事業の状況-2

(単位:百万円)

	2012/6期	2013/6期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)	78.63	88.18	+9.55	+12.1
売上高合計	2,718	2,915	+197	+7.3
日本	1,326	1,245	△80	△6.1
海外	1,392	1,669	+277	+20.0
医療部材	1,355	1,761	+406	+30.0
日本	662	750	+87	+13.2
海外	692	1,011	+318	+46.0
産業部材	1,363	1,154	△208	△15.3
日本	663	495	△167	△25.3
海外	699	658	△40	△5.8
営業利益	1,242	1,208	△34	△2.8



ご参考：損益の状況

	2012年6月期 実績		2013年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	14,852	100.0	19,968	100.0	+5,116	医療機器分野が全地域において好調
売上原価	4,928	33.2	6,458	32.3	+1,529	
売上総利益	9,923	66.8	13,510	67.7	+3,587	好調な売上高に比例して増加
販管費	7,884	53.1	9,158	45.9	+1,273	主に営業関係費用が増加
営業利益	2,038	13.7	4,351	21.8	+2,313	
営業外収益	103	0.7	550	2.8	+447	円安に伴う為替差益の増加 +489
営業外費用	209	1.4	99	0.5	△110	円安に伴う為替差損の減少 △140
経常利益	1,931	13.0	4,802	24.0	+2,870	
特別利益	1,731	11.7	0	0.0	△1,731	前期災害保険金計上あり △1,706
特別損失	2,342	15.8	39	0.2	△2,303	前期災害による損失計上あり △2,197
当期純利益	967	6.5	3,004	15.0	+2,036	
包括利益	672	4.5	5,288	26.5	+4,615	為替換算調整勘定 +2,171



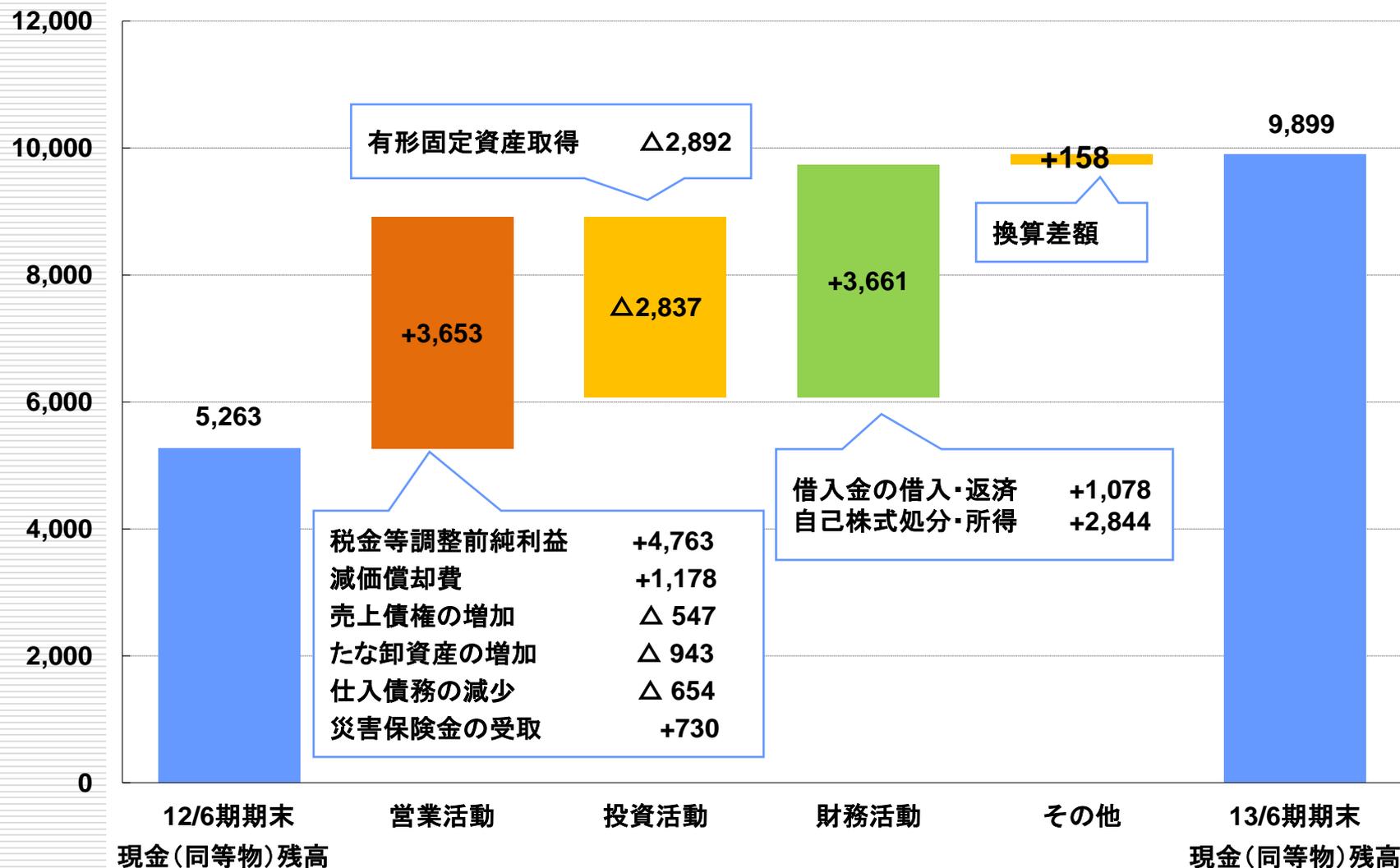
ご参考：財務の状況

		2012年6月期 実績		2013年6月期 実績			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
資産	流動資産	15,608	58.5	22,343	61.1	+6,734	現金預金の増加 +4,480 売上債権の増加 +1,019 棚卸資産の増加 +1,733
	固定資産	11,058	41.5	14,243	38.9	+3,185	有形固定資産の増加 +2,712
資産合計		26,666	100.0	36,587	100.0	+9,920	
負債	流動負債	6,758	25.3	7,804	21.3	+1,046	未払法人税等の増加 +1,183
	固定負債	5,841	21.9	6,857	18.7	+1,015	長期借入金の増加 +841
負債合計		12,600	47.3	14,662	40.1	+2,062	
純資産合計		14,066	52.7	21,924	59.9	+7,858	資本剰余金の増加 +1,890 利益剰余金の増加 +2,697 為替換算調整勘定 +1,873
負債・純資産合計		26,666	100.0	36,587	100.0	+9,920	



ご参考：キャッシュ・フローの状況

(百万円)





1. 2013年6月期(通期)連結決算の概要

2. 2014年6月期(通期)連結業績見通し



2014年6月期決算の見通し

主力製品PTCAガイドワイヤーのグローバル規模での持続的成長や、第2の主力製品確立に向けたカテーテル分野への新製品投入などにより、売上高増加

■ 売上高は24,055百万円(前年同期比+20.5%)を見込む

<増収要素>

- 国内・欧州・アジア(中国含む)市場における更なる市場シェアの拡大
- PTCAバルーンカテーテル「KAMUI」、PTCAガイドワイヤーカテーテル「Hyperion」などの新製品の市場投入
- 国内市場における腹部・脳血管系製品の直接販売切替に伴う収益改善

<減収要素>

- 医療償還価格の下落(影響金額 △250百万円)

■ 営業コストを中心とした費用発生あるも、売上増加に伴い大幅増益

- 営業利益は5,446百万円(同+25.2%)
 - 研究開発費用の増加(同+574百万円、売上高比率 10.5%)
 - 営業機能強化のための人件費及び関連諸経費の増加
- 経常利益は5,434百万円(同+13.2%)
- 当期純利益は3,804百万円(同+26.6%)

為替の前提	(単位:円)			
2013/06(実績)	US\$	88.18	BAHT	2.90
	EURO	112.00	中国元	14.17
2014/06(計画)	US\$	95.00	BAHT	3.30
	EURO	125.00	中国元	15.00

為替変動による営業利益の
影響・概算(主な通貨のみ)

US\$ (+1 円の影響) : 約 58百万円 増加
 BAHT (+0.1 円の影響) : 約 120百万円 減少
 EURO (+1 円の影響) : 約 18百万円 増加

※トヨフレックス社の連結子会社化に関しては、株式取得前のため、現時点での業績見通しには含めておりません。

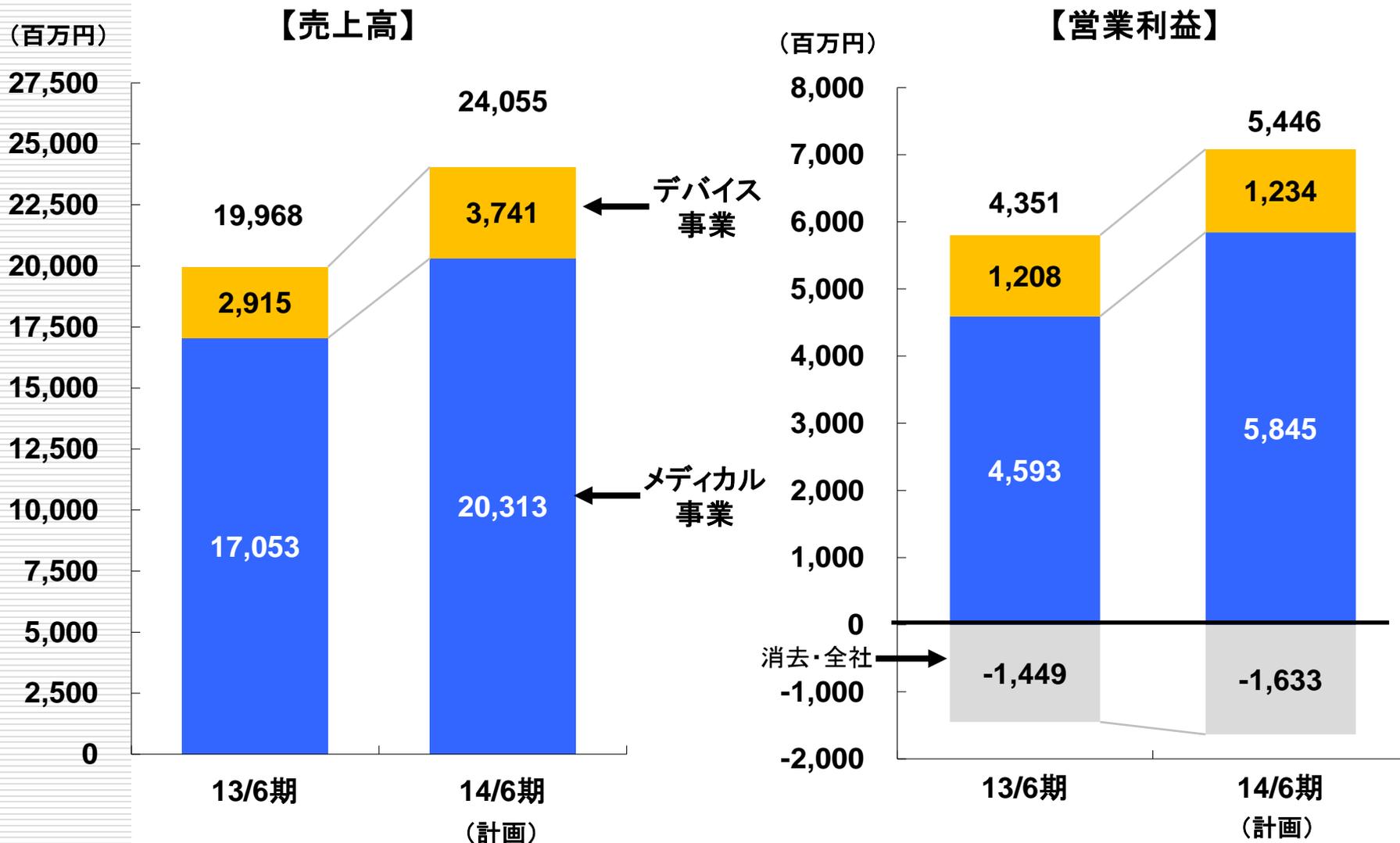


2014年6月期業績見通し

	2013年6月期(実績)		2014年6月期(計画)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	19,968	100.0	24,055	100.0	+4,086	+20.5
売上総利益	13,510	67.7	16,248	67.5	+2,738	+20.3
営業利益	4,351	21.8	5,446	22.6	+1,094	+25.2
経常利益	4,802	24.0	5,434	22.6	+632	+13.2
当期純利益	3,004	15.0	3,804	15.8	+800	+26.6
EPS	197.79円	-	239.38円	-	+41.59円	+21.0



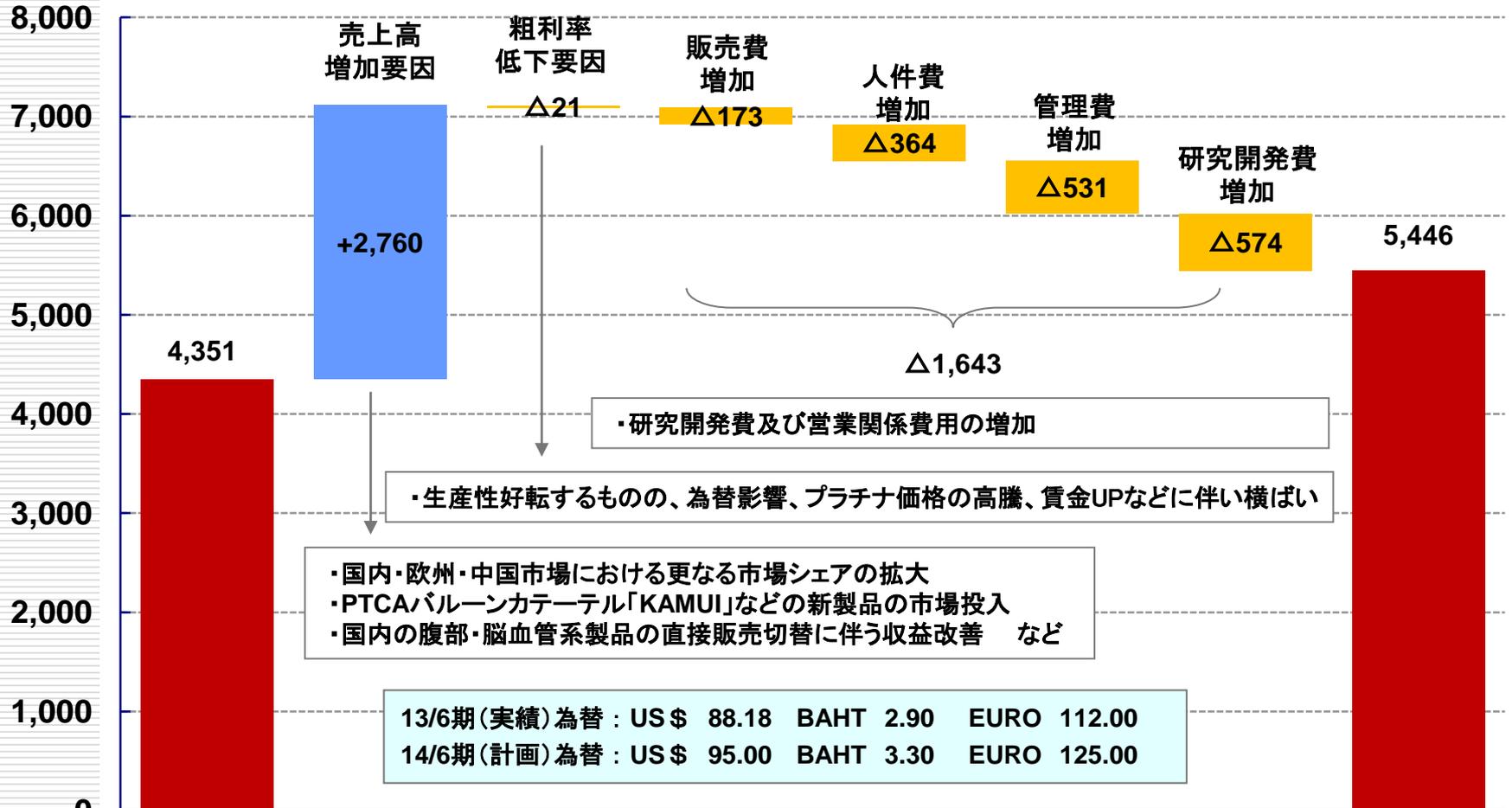
セグメント別の収益見通し





14/6期計画の営業利益増減要因分析

(百万円)



- ・生産性好転するものの、為替影響、プラチナ価格の高騰、賃金UPなどに伴い横ばい
- ・国内・欧州・中国市場における更なる市場シェアの拡大
- ・PTCA/バルーンカテーテル「KAMUI」などの新製品の市場投入
- ・国内の腹部・脳血管系製品の直接販売切替に伴う収益改善 など

13/6期(実績) 為替	US\$ 88.18	BAHT 2.90	EURO 112.00
14/6期(計画) 為替	US\$ 95.00	BAHT 3.30	EURO 125.00

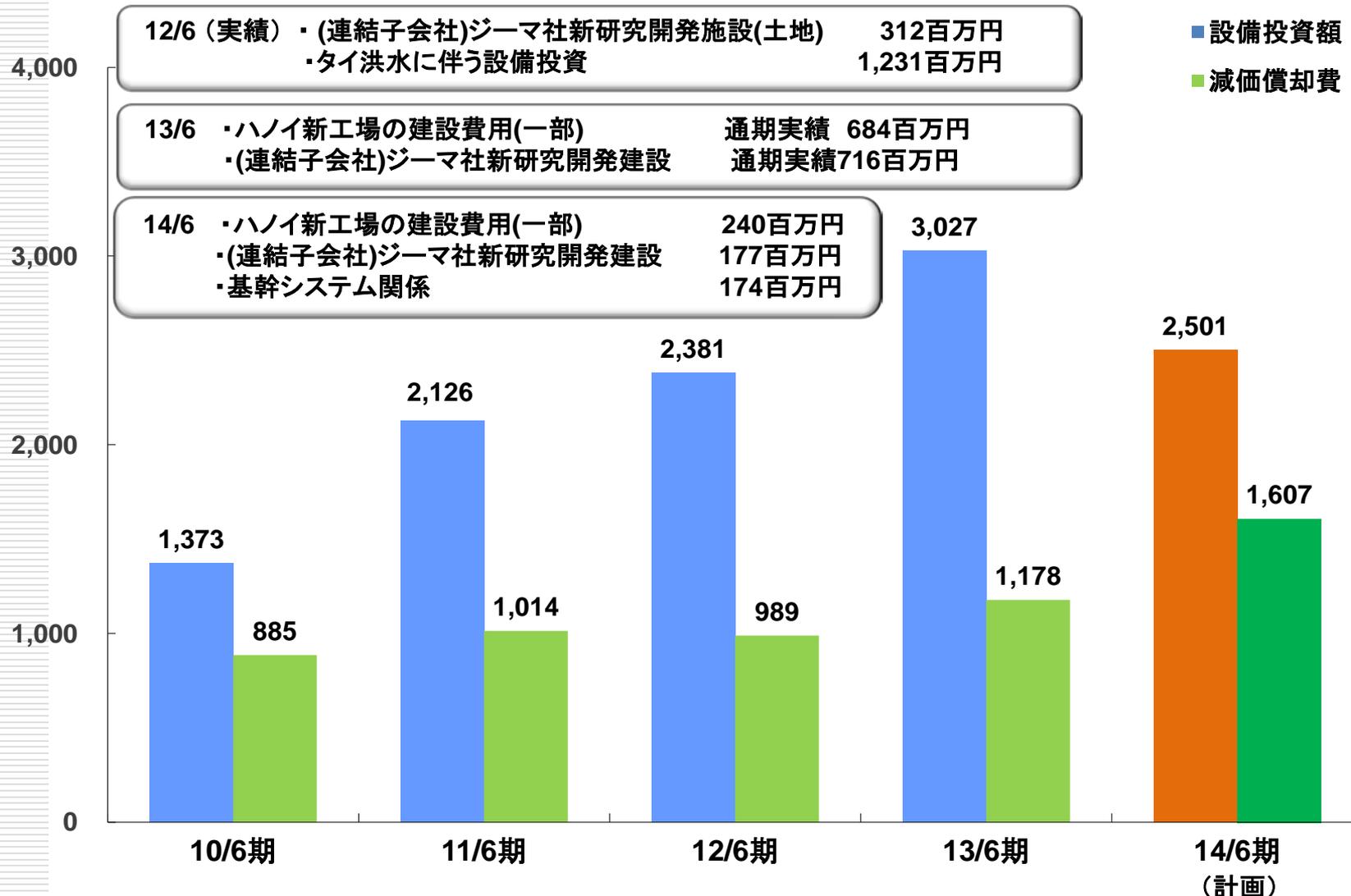
13/6期
営業利益

14/6期
営業利益 (計画)



ご参考：設備投資の実績及び計画

(百万円)



* : 2013/6期より、当社及び国内連結子会社の建物除く減価償却の方法を定率法から定額法に変更しております。

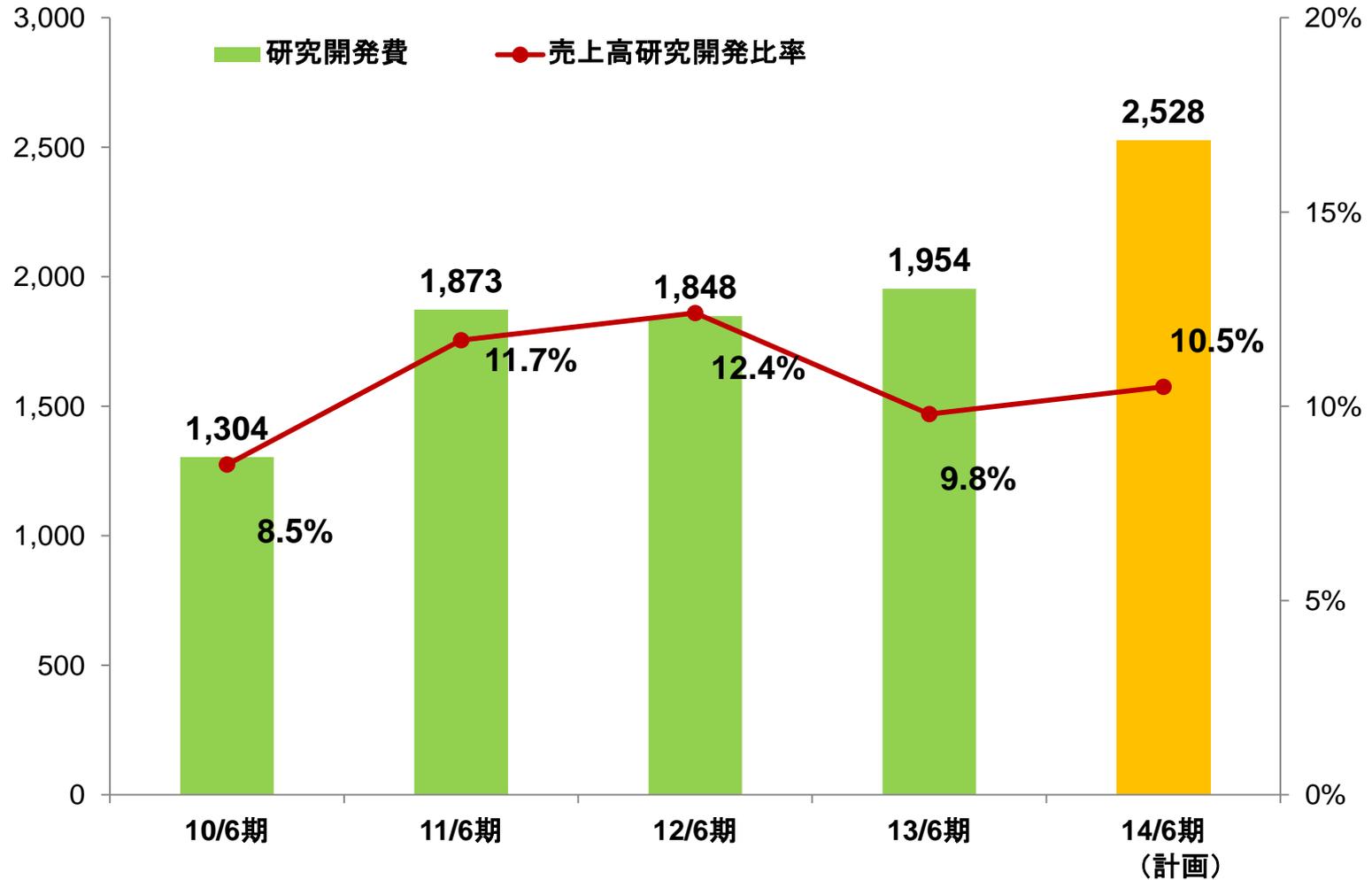


ご参考：研究開発費の推移

研究開発費
(百万円)

売上高研究開発比率

(%)





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1211(代表)

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>